

課題プリント③

第二段落(254・8～256・5) その2

問1 「おれが誰であるのか、そんなことはこの際問題ではないのだ」(255・11)とあるが、その理由を考えてみよう。

↓ 常識的に考えれば、家を(①)すること、その持ち主が誰かということは表裏一体の関係にある。しかし主人公の「おれ」は、一般的な(②)や日常的な論理に対する根本的な(③)を抱いているため。

- | | | |
|---|------------------------|------|
| ① | () | 漢字二字 |
| ② | () | 漢字二字 |
| ③ | () | 漢字二字 |

問2 「そんなこと」(255・11)とあるが、どのようなことをさすか。

↓

問3 「それ」(255・13)とあるが、どのようなことをさすのか。

↓

問4 「それ」(255・14)とあるが、何をさすのか。

↓

問5 ★「女の顔が壁に変わって」(255・3)の部分の「壁」はどのようなことの比喩か。

問6 「訳のわからぬ論理」(255・5)と正面から対立する「おれ」の論理とはどのようなものか。適当な一文を抜き出せ。

問7 ★「この変貌」(255・5)とは、どのようなことか。

問8 語句の意味 A やけ気味 B 癪にさわる

A

B

※ 第2段落のイメージをイラストにしてみよう。